

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月24日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C		
横断的な課題	リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた取組の推進						
地域重点政策	リニア及び三遠南信自動車道を活かす地域づくりの推進					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名	「風流踊」ユネスコ登録記念事業				電話	8-237-2315	
					E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを周知するとともに、これらの魅力を発信する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の国指定重要無形民俗文化財41件が「風流踊」として、令和4年11月下旬から12月上旬にユネスコ無形文化遺産に登録される見込み。(本県では「跡部の踊り念仏」(佐久市)、「和合の念仏踊」・「新野の盆踊」(阿南町)の計3件) ・登録までのスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・～10月31日 評価機関による勧告 → 勧告済み ・11月28日～12月3日 政府間委員会(審議・決定) ・南信州地域にとって、民俗芸能は誇るべきものであり、リニア時代の地域づくりに活かすべき貴重な資産である。今回、阿南町の2つの民俗芸能がユネスコ無形文化遺産に登録されることは、地域の誇りであり、これを契機に民俗芸能を地域全体で支える機運が高まることが期待される。 					
概要	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○懸垂幕の掲揚 登録決定時、飯田合同庁舎に登録を祝う懸垂幕を掲揚する。(掲揚予定期間 11/28～3/31) ○“風流踊”特別展示の実施 阿南町や南信州民俗芸能継承推進協議会等と連携し、昨年度作成した南信州民俗芸能パネルの掲示や実際の祭りの映像を放映する。(阿南町役場・教育施設、飯田合同庁舎1階ロビー、南信州民俗芸能フェスティバル開催時等)。 ○南信州民俗芸能フェスティバルの映像配信 フェスティバルの様子のライブ配信及び映像配信を行い、来場者以外にも発信を行なうことでより多くの方にユネスコ登録の意義等を理解していただく。 ○風流踊及び南信州民俗芸能パートナー企業制度紹介パネル制作(4枚) ※すでに制作してあるパネルを登録内容に修正し、制度紹介パネルを新規製作 ○チラシ・パンフレット等配布用の手提げ袋制作 R3年度に作成した手提げ袋を活用してチラシの配布を行い、多くの人々へ効果的にPRする。 また、来年度以降も4月から開催される会議やイベント等で継続して幅広い周知を進める。 					
		事業期間	令和4年11月		～	令和5年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	懸垂幕作成・掲揚事業	懸垂幕作成	70,400	1枚			
	映像配信事業	映像配信	198,000				
	展示物等作成事業	展示パネル、手提げ袋	268,482	参考見積による パネル4枚 手提げ450枚			
合計		536,882					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	南信州民俗芸能フェスティバル参加者数		100人	300	● 達成		
					○ 一部達成		
事業実績・成果	【実績】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・風流踊のユネスコ無形文化遺産登録に向け、懸垂幕の制作や特別展示の準備を事前に行ったことで、登録が決定したその日から祝意を表すことができた。 ・南信州民俗芸能フェスティバルでは、南信州民俗芸能継承推進協議会事務局と連携し、オンライン映像配信やパネル等展示物の掲示、チラシ等の配布を実施した。フェスティバル参加者募集開始直後から申込が殺到し、当初の計画人数から会場収容人数の上限(300人)まで申込を受け付けた。結果、開催日3週間前には満席となり、それ以降に問い合わせのあった方にはYouTubeライブ配信を案内することができた(当日は150人がライブ視聴)。 						
今後の方向性	【成果】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・登録後の懸垂幕の掲揚や特別展示、南信州民俗芸能フェスティバルの様子が多くの報道機関(NHKやSBC、信濃毎日新聞、南信州新聞、読売新聞、中日新聞、いいだエフエム等)に取り上げられ、南信州の方々をはじめ県内外の方々へユネスコ登録の意義や価値、各々の風流踊の特徴について周知・体感していただくことができた。 ・保存会だけでなく、パートナー企業や住民地域が一丸となって風流踊をはじめとした南信州地域の民俗芸能を支える機運を醸成する一つのきっかけとなった。 						
今後の方向性	風流踊のユネスコ無形文化遺産登録を機に、南信州地域の民俗芸能の魅力発信及び理解促進を支援						